

# ぐんま認知症アカデミー第9回秋の研究発表会

ぐんま認知症アカデミーの活動も、おかげさまで9年目を迎え、第9回秋の研究発表会を開催する運びとなりました。今回は、各施設から8演題の応募がありました。いろいろな領域の発表です。皆で楽しく議論しましょう。  
教育講演では、石川県立高松病院の北村 立先生(精神科医)を迎え、BPSD はケアや生活の環境調整による予防が大切ということを中心に、お話し頂きます。楽しい先生です。

**対 象** 認知症に係わる保健・医療・介護職、ご家族など

**日 時** 平成 26 年 12 月 7 日(日)13 時 30 分～18 時(受付開始 13 時～)

**場 所** 群馬会館 ホール 参加費 500円

**駐車場** 群馬県庁駐車場をご利用ください。(前後に長時間駐車すると料金が発生します。)

**参加申込み方法** ホームページから、または FAX (裏面をご覧下さい)でお申し込み下さい。

**申込み期限** 平成 26 年 12 月 5 日(金)15:00 まで(定員となり次第締め切りです。)

※当日空席があれば入れますが、予約された方が優先となります。

●●●●●●●●●●認知症ケア学会「認知症ケア専門士単位:2単位」認定●●●●●●●●●●

13:30～13:35 幹事会報告

13:35～15:35 研究発表会(8 演題) 座長 内田 陽子(群馬大学大学院保健学研究科)

① アロマセラピーの認知症ケアへの応用 膳 澄美(大井戸診療所訪問看護)

② 桐生市における事例検討会を中心とした活動 平林 久幸(わたらせリバーサイドクリニック)

③ 認知症高齢者の家族介護に対する肯定的認識の検討

— 認知症の介護肯定感尺度開発へ向けた予備調査— 藤生 大我(本庄総合病院)

④ 回想法実践中の行動と介入前後の評価結果の変化との関連性

—回想法への参加態度が積極的なほうが効果が高いのか?— 須田 昇司(真木病院)

座長 田部井 康夫(認知症の人と家族の会)

⑤ 認知症対応型グループホームと訪問看護ステーションの連携の在り方に関する調査報告

清水 浩美(天使のケア清水)

⑥ 認知症の人を支える特養でのチームづくり—笑顔でゴー!—

鈴木 八矢人(特別養護老人ホームくやはら)

⑦ 同じBPSDの方から探る共通点

三俣 和哉(NPO法人三和会)

⑧ 認知症高齢者の排尿症状に対する効果的なケア

山岸 友子(群馬大学医学部附属病院)

15:35～15:45 休憩

15:45～16:05 県内情報

座長 田中 志子(大誠会内田病院)

「感激的ビフォーアフター・環境が支える認知症ケア～お互い樂するケアのコツ～」

講師:大誠会グループ企画本部長・環境アドバイザー 山下 総司 先生

16:05～16:20 休憩

16:20～17:50 教育講演

座長 大澤 誠(大井戸診療所)

「先手必勝の認知症医療 —生活機能の視点からBPSDをマネジメントする—」

講師:石川県立高松病院 北村 立 先生

石川県立高松病院の認知症病棟では、BPSDを集中的に治療し短期間で在宅に帰すことに取り組んでいますが、最近ではBPSDを悪化させない外来治療にも力を入れています。生活機能という視点から認知症をみると、BPSDは症状というより生活障害の一部であることがわかります。従ってその治療も、まず薬物治療ありきではなく、環境調整や家族教育が重要であることが見えてきます。当日は具体的な例を示しながら、我々の取り組みをお話ししたいと思います。

17:50～18:00 表彰式 (奨励賞:2演題)

◎ 共催:群馬県 ◎ 後援:日本認知症ケア学会 群馬県社会福祉協議会 群馬県医師会 群馬リハネット